
ホットニュース(平成18年度／第99号)

●今月の業界ホットニュース／まちの魅力の三点セット

軽妙洒脱なIさんが妙言を吐いた。「まちの魅力の三点セットは、市場と路地と神社」だという。

市場についてはいうまでもないだろう。テレビの旅番組を見ていると、朝市のあるような街では必ずその紹介からはじまる。路地については知人ぞ知る路地学会がある。路地の魅力を活かした街づくりに取り組んでおり、東京では神楽坂、十条、大阪の空堀などが有名である。

ところで神社である。東京でもいたるところに神社がある。社殿のあるまともなものは多いとは言えないかもしれないが、鳥居と祠だけの神社は、市街地に飲み込まれて目立たないが無数にありそうだ。弊社から徒歩二、三分のすぐ近くにも、北野神社、笠間稲荷と二つもある。北野神社は天神様に因んで必ず梅の木があり、いまの季節には梅の実がみっちり成っていて思わずもぎたくなるが、これは余談。普段は存在すら気がつかないぐらいなのに、秋祭には御神輿が出てにわかコミュニティが活気づく。

東京の小さな神社でもこうなのだから、地方の神社には地域に根付いた凄いお祭りが沢山ある。諏訪大社の御柱祭が行われる年は、何ヶ月も街中でお祭り騒ぎが続いているそうだ。街のコミュニティ、歴史、文化的魅力の一翼を担ってきたのが、神社ではないだろうか。その意味で、街と神社の関わりを、じっくりと見直す必要があると思う。

(代表取締役 堀田 紘之)

●ユビキタス時代の幕開け

若者のみならず、おばさん・おじさんから高齢の方まで、携帯電話がなくてはならないものになったのはついこの間のことである。

国が進めてきたIT化戦略は第2ステージに入った。U-Japan政策(04年12月)では、2010年には「世界最先端のユビキタスネットワーク技術社会」を構築するとし、またIT新改革戦略(06年1月)では「いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる社会」を実現するとしている。

物流や生産・商品管理への適用など産業部門での実用化が先行しているが、生活面での活用も期待されている。道路交通案内や車の安全走行、歩行者の移動支援や観光案内、単身高齢者等の見まもりや災害時の活用をはじめ、「生活の隅々まで浸透」するユビキタス時代の幕開けである。

いつでもどこでも働けるネット社会到来で、アメリカではワーカホリックが増えているという。ネット犯罪やデータ流出は日常茶飯事である。友達と外で遊びながら地域コミュニティのなかで社会ルールを学ぶという子供の成長環境は、車やゲーム機などに奪われた。「生めよ増やせよ」の戦前戦中、「産児制限」が声高に叫ばれた戦後、「少子高齢化」をなげく近年…今はやりの「昭和レトロ」のわずかの期間の間に地域社会は大きく変貌した。ユビキタス技術がそれらの問題を解決してくれる社会が来るようであるが、我々はどのような時代を迎えようとしているのだろうか。文化的にも豊かで楽しく人間性に満ちた暮らし、夢をもてる社会が待っているのか。

新しい技術の活用に、本気で英知を集約していかないと、悲観的なSF世界が到来する……そんな気がするのは、私だけでしょうか。

(第二計画部 坂井 雅子)

●防犯まちづくり／市民と行政の連携による防犯体制づくり：千葉県柏市

柏市は千葉県の北西部に位置する人口約38万人の市である。中心市街地である柏駅周辺には複数の百貨店をはじめとして商業・アミューズメント施設が集積し、若者を中心として多くの人が集まる繁華街が形成されている。この柏市では市民と行政の連携により防犯体制がつくられている。

○柏市安全で安心なまちづくり条例の制定

柏市では平成13年4月に「柏市安全で安心なまちづくり推進条例」を制定した。この条例は市民の安全安心意識の高揚と自主的な安全安心事業の推進、犯罪の防止に配慮した生活環境整備を進め安全で安心な住みよいまちをつくることを目的としている。その条例は、市全体の模範となるモデル地区を指定し安全で安心なまちづくりの活動を積極的に推進することや、自主的な安全安心まちづくり活動を行う団体の育成・支援を図ることなどが特徴となっている。

○柏駅周辺地区での防犯の取組み

柏市では条例に則して柏駅周辺地区を安全推進モデル地区に指定した。その柏駅周辺地区の防犯施策として、ボランティアによる「落書きやめさせ隊」を結成し柏駅周辺の落書き消しを実施することや、市民防犯パトロールを実施すること、商店街や駅前広場に防犯カメラを設置することなどを実施している。

○日本ガーディアン・エンジェルズ柏支部の活動

日本ガーディアン・エンジェルズとは、特定非営利活動法人（NPO法人）で赤いベレー帽などそろったユニフォームを着て地域の犯罪を防止するために街をパトロールする組織であり、全国に支部がある全国組織である。柏市にも平成14年3月に柏支部が発足している。柏支部は柏駅周辺の繁華街における犯罪防止パトロール、環境美化運動、地域イベントへの参加など様々な活動を展開している。また市、警察署、市民ボランティアとともに「落書きやめさせ隊」や市民防犯パトロールに参画している。さらに、子供達やPTAを対象とした安全セミナーなど幅広い防犯活動を行っている。

○犯罪発生マップの公表

柏市では、市民に対して身近な犯罪についてその発生状況を目に見える形で表すことにより犯罪情報として役立てもらうことを目的に「柏市犯罪発生マップ」を市のホームページ上で公表している。具体的には地区別の犯罪危険レベルや犯罪発生状況の情報を提供している。

柏市ではこのように、行政、民間、NPOなどにより防犯体制をつくり、協働で防犯のまちづくりを進めている。防犯まちづくりは空間づくりや機器の設置だけで対応することは難しく、柏市のように市民等との協働により人的な防犯活動を行うことが有効である。

（第二計画部 内山 征）